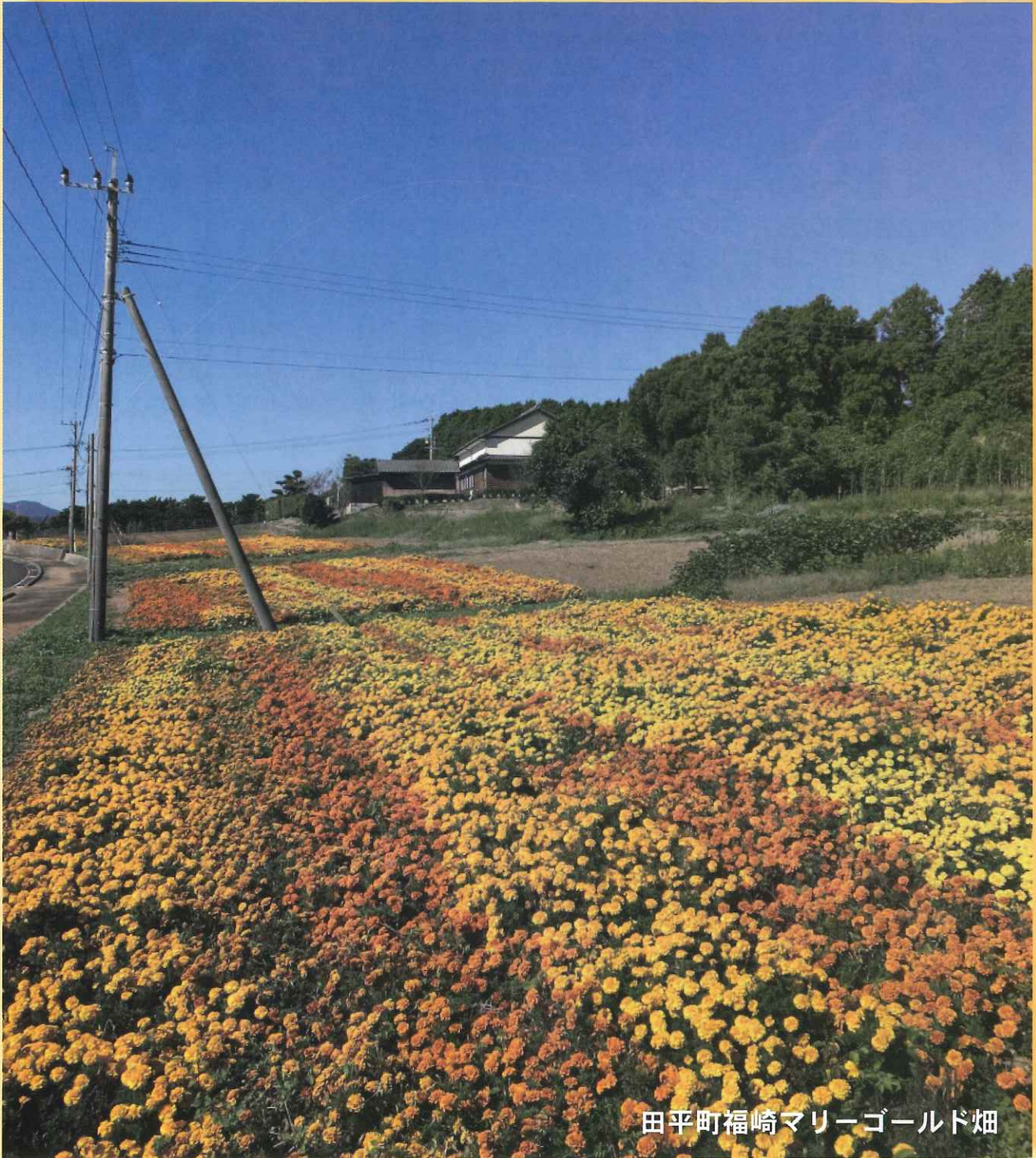


2023年2月

NAGASAKI

# シルバーひらど



田平町福崎マリーゴールド畑

HIRADO

VOL.39

# 新年のあいさつ



理事長  
藤澤敏孝

新年あけましておめでとうございます。皆様には、清々しい新春をお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

平素は、当センターの事業運営に対し、市ご当局や市民の皆様方の格別なご理解とご支援を賜り心からお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大は、日常生活に大きな影響を及ぼし、当センターにおきましても多くの制約を受けました。就業におきましては、新型コロナウイルス感染症や、台風などによる想定外の災害により、受注件数・契約額など、前年度を下回る実績で推移しております。

昨年は、平戸市シルバー人材センターにとっても設立三十周年という節目の年であり、三十周年を皆さんとお祝いする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の関係でやむなく中止となりました。また、定時総会、地域班会等も少人数での開催や一部中止を余儀なくされました。

センターの最重要課題は「会員の拡大」ですが、国が進める「定年延長」や「再雇用」の推進で、退職後の選択肢にシルバー人材セ

ンターが選ばれなくなっているのが現状です。当センターでも会員の高齢化や会員の減少など多くの課題を抱えています。仕事を請け負うだけでなく、会員同士や地域とのつながりをつくり出す中心的役割を担う組織であることを社会に周知することが必要です。そして会員がセンターの理念をしつかり認識し、「自主・自立」「共働・共助」で高齢者同士が力を合わせて事業に積極的に参加することが、センターの歩むべき道であると思います。

人生百年時代を見据え地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして、重要な役割を担っているシルバー人材センター事業を、さらに飛躍・発展させていかねばなりません。

また、就業における「安全・安心なシルバー事業」の展開を図ることは、シルバー事業遂行の根幹をなすものと考えております。これからも、安全対策の推進のため、組織を挙げ、安全対策の取り組みを強化し、事故の軽重を問わず、原因の把握分析や再発防止を講じながら、重篤事故・傷害・損害事故の根絶に努めて行かなければなりません。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「コロナと共に」の生活が続くことを受け入れながら、本年も会員の笑顔があふれるセンターを目指して、役員が一丸となって頑張つてまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに、本年が、皆様にとって健康で幸多い年となりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします

- |      |       |
|------|-------|
| 理事長  | 藤澤敏孝  |
| 副理事長 | 青崎光國  |
| 常務理事 | 鴨川祐一  |
| 理事   | 石元敏博  |
| 理事   | 鴨川安利  |
| 理事   | 柴田早苗  |
| 理事   | 早田次雄  |
| 理事   | 西サチ子  |
| 理事   | 弥勒院修身 |
| 理事   | 森吉夫   |
| 監事   | 坂本純雄  |
| 監事   | 川淵芳喜  |



## 新年を迎えて



平戸市長  
黒田 成彦

新年あけましておめでとございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

藤澤理事長を始め、会員の皆様には日頃から、市政の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

長引くコロナ禍の影響により、ここ数年は会員の皆様方の活動に限らず、様々な場面で行動制限が長引き、皆様方のお気持ちにも暗い影を落としてきた時期ではなかったかと思いますが、昨年から段階的に行動制限も緩和され、コロナ以前の生活を取り戻しつつあり、各分野における経済活動も回復の兆しをみせております。

基幹産業であります観光分野におきましても、冬休みにかけての観光客の動向は、

政府による積極的な支援策を追い風に、徐々にはありますが増加に転じているところでございます。

また、昨年十一月末に国指定重要無形民俗文化財の「平戸のジャンガラ」が全国各地に伝承される「風流踊」としてユネスコの無形文化遺産に登録決定されたことは、大きな喜びであり、本市の「文化力」の高さを内外に認識していただく貴重な機会となりました。先人から受け継いだこうした貴重な財産を大切にしながら、今後の観光振興や交流人口拡大につなげていきたいと考えております。

さて、全国的に長寿社会を迎える中、「人生百年時代」を元気でいきいきと過ごしていただける地域社会づくりが求められています。その中であって、シルバー人材センターの活動は、生きがいの創出、人と人との交流、社会との繋がりと云った活力ある「生涯現役社会」の実現に大きく寄与するものであり、今後もより一層のご活躍を期待するところです。

本年は、本市における十年間の施策の柱である「平戸市総合計画」の折り返しの年にあたり、新年度からは後期計画を着実に進めていく節目の年となります。

計画に掲げる「高齢者が誇りを持って、自分らしく住み慣れた地域で暮らしつづけられるまちづくり」を実現するため、現在実施しております「ワンコインまごころサービスマスター」や「訪問型サービスマスター」を始めとした各種事業の充実を図るとともに、直面する地域課題への対応については、地域で頑張る市民の皆様や団体との連携を密にして、解決への手立てを講じてまいりたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、市政に對しましてなお一層のご理解をお願い申し上げますとともに、今後も地域の担い手としてお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。結びにシルバー人材センターの更なる飛躍と会員皆様のご健勝並びにご活躍を祈念いたしまして、新春のごあいさつをいたします。



## 令和四年度 定時総会開催!!

令和四年度定時総会が六月十六日(木)に、平戸文化センター中ホールにおいて開催されました。

本総会も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域班班長及び職群班班長のみの少人数開催となりました。



総会は、会員総数二百三十九名に対し、出席者数正会員三十六名、議決権行使書提出会員百八十二名で過半数に達し会が成立いたしました。

弥勒院理事の司会進行により、定刻十時に開会。藤澤理事長式辞の後、永年役員としてセンターの事業発展に寄与された前田繁理事に表彰状を、二十年間会員としてセンターの事業発展に貢献された会員三名の代表者に表彰状が送られました。

引き続き、選出された中村議長の進行により議事が進み、第一号議案令和三年度事業報告及び決算並びに監査報告、第二号議

案の役員の選任について全員意義なく承認され、また第一号報告の令和四年度事業計画、第二号報告の収支予算についても報告されました。

また、今回の総会では理事・監事の役員改選もあり、新たに理事十名・監事二名が選任されております。

当センターにおいては、平戸市シルバー人材センター中期計画(二〇一八年度～二〇二四年度)に沿って、「二人一会員入会」を基本として、女性会員の増強を中心に「会員拡大」と「就業拡大」を重点事業として取り組みを行います。また、今後ますます需要の増加が予想される家事援助サービス事業や高齢者の簡易なお困りごとを解決するワンコインまごころサービス事業において、日常生活を支援してまいります。

さらに、シルバーの基本理念である「自主・自立・共働・共助」の下、会員・役員・事務局職員が一体となって、地域社会に信頼されるシルバー人材センターを目指し、効率的な事業の推進と活性化を図ってまいりますので、引き続き会員皆様のご協力をお願いいたします。



永年役員として功績があった前田理事に表彰状贈呈

### 【基本方針】

- 一、高齢者の就業開拓と会員拡大。
- 二、組織運営体制の確立。
- 三、地域班・職群班の活性化を図り、会員参加によるセンター運営体制の強化。
- 四、安全就業についての啓発・指導、適正就業の徹底。
- 五、普及啓発活動の推進。
- 六、財政基盤の充実。
- 七、長崎県シルバー人材センター連合会等との連携。

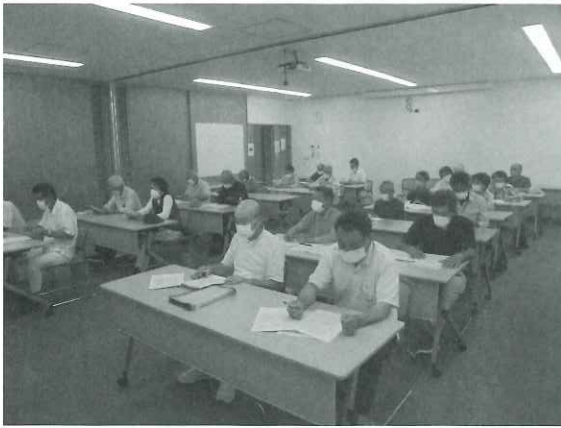
## 令和四年度職群班長・

### 副班長会議の開催!!

令和四年度第一回職群班長・副班長会議が、七月十五日（金）に平戸市未来創造館会議室で開催され、班長十四名・副班長九名が出席しました。

会議では、事務局より本年度の事故発生状況や安全・適正就業強化月間、配分金見積基準単価の見直し、インボイス制度についての説明が行われました。

特に、ここ数年多発している刈払機の飛び石による窓ガラス破損事故が報告され、本年度もすでに四件のガラスを割る賠償事故が発生しており、近くに車がある場合は移動



をお願いしたり、センターに備え付けの防護ネットを使用するなどの事故防止を徹底するよう注意されました。会員からは、刈払機の飛び石事故については、原因の一つに刈払機の使用上の問題もあり、講習会を開催してはどうかとの意見も出されました。

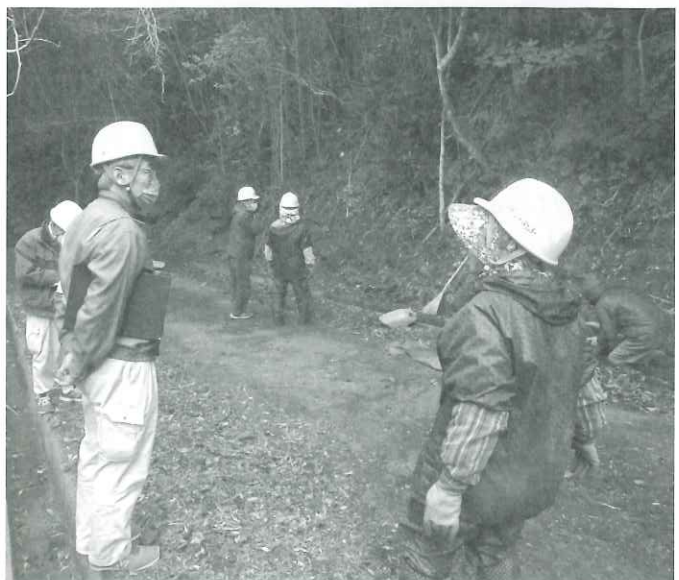
この会議の中で出された提案事項は今後協議を行い、事故撲滅に向けた取り組みを強化していきたいと考えます。

### 安全適正就業委員会だより

#### さらなる安全就業の徹底を!!

シルバー人材センターでは毎月安全適正就業委員会による安全巡回指導及び安全対策委員会を実施しています。委員は当日の各作業現場をパトロールして、安全点検チェックリストを基に、安全保護帽の着用や剪定作業での安全帯着用、刈払機の安全ガードの装着など職種別に指導を行っています。

しかし、安全巡回指導を重ねているにもかかわらず、残念ながら本年度中においては保険請求を伴う傷害事故は起きていないものの、作業時における賠償事故が四件発生しており、依然として、刈払機使用時の



飛び石による窓ガラス等の破損事故が発生しております。この事故を防止する対策の一つとしてセンターでは防護ネットを購入し、その対策に努めているところですが一向に事故はなくなりません。今後は飛び石事故の撲滅を目指してさらなる対策と注意喚起が必要です。

来年度は事故ゼロを目指し、会員一人ひとりが安全に対する心構えや気配り等、「安全」について今一度再確認いただき、安全安心な就業に取り組んでいただきたいと思います。

## 普及啓発促進月間の活動紹介!!

### ●ボランティア活動報告—会員が清掃奉仕活動—



10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間の取り組みの一つとして、平戸市内全域で地域班16班によるボランティア活動が実施され、早朝から小学校や公共施設などの除草・清掃作業等を行い、138名の会員が参加し心地よい汗を流しました。

今後とも、ボランティア活動を通じて社会奉仕に貢献し、市民皆様に信頼され親しまれるシルバー人材センターを目指して行きたいと考えております。



令和四年十月四日（火）、平戸市未来創造館二階会議室におきまして、長崎県シルバー人材センター連合会主催の終活セミナーが開催されました。

セミナーでは、佐世保公証人役場公証人として活躍されている西田勝彦氏を講師に迎え、会員十名が参加しました。「相続と遺言について」というテーマで講義が行われ、大切な財産が円滑で円満に相続できるよう、相続の手続きや遺言について分かりやすく解説されました。

この終活セミナーは初めての開催でしたが、終活は終わりではなくこれからの人生を心配なく、問題なく過ごすための一つの手段だと考えられます。

また、会員皆さんがより良く生きる活動の一つとして、仲間とふれ合い元気に仕事をすることで健康な日々を過ごすことができるように、シルバー人材センターも少しでも手助けが出来ればと考えております。

## 終活セミナー開催!!

— 高齢者活躍人材確保育成事業 —



除草作業

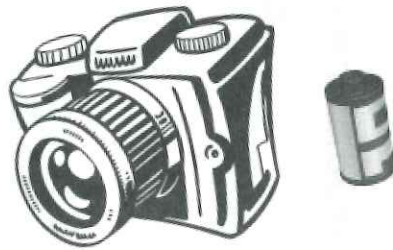


草刈り作業



剪定作業

# ふれあい 写真館



剪定屑チップ作業



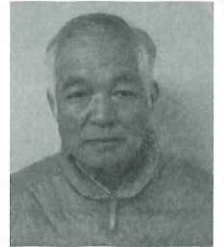
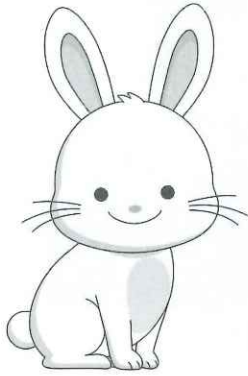
お墓掃除

# 2023年男・年女

二〇二三年の主役、卯年の年男・年女の会員の皆さんにアンケート調査を実施しましたところ、七名の会員の皆さんからご回答をいただきました。

卯年生まれの人にはもの静かで行儀がよく、上品で繊細なところで一般的に静かで落ち着いた生活を好む傾向があるそうです。対人関係においては、争いごとを好まない平和主義者なので、周りの意見を上手く調停する聞き上手な人が多く、年上の人に可愛がってもらえる愛嬌があるといわれています。

今年一年、会員の皆さんにとって、更なる飛躍の年となりますよう心からお祈りいたします。



田平南班  
岡田俊明

- ①早寝、早起き。
- ②体を動かすこと。
- ③特にありません。
- ④明るくなった。
- ⑤特にありません。

### アンケート調査項目

- ①あなたの健康法は？
- ②あなたの趣味は？
- ③今年の夢・抱負は？
- ④人材センターに入会して変わったことは？
- ⑤人材センターに期待することは？

(五十音順)



大島班  
川久保芳子

- ①野菜を作ったり、潮が下げる時に、磯を歩きに行くことです。
- ②潮時になれば貝類等を取りに行くこと。
- ③自分の体の衰えを感じながらも働けることを目指して頑張りたいと思います。
- ④米作り、牛飼いや忙しい毎日でしたが、突然相手が思わぬ病に襲われ、途方に暮れている時、シルバーで働いている人を見て不安方々申し込んで、今は皆さんが優しい人ばかりで喜んでいます。
- ⑤仕事があれば頑張りたいと思います。



田平南班  
末永末義

- ①一日の三度の食事はあまり時間をずらすず食べ、夕食後は食わず休みます。それと孫との会話。
- ②農作業が暇な時は、船での沖釣りです。
- ③体に気を付けて、会員の皆様と頑張りて行きたいです。
- ④色々な職種を退職された皆様の話を聞き、人生の勉強になりました。
- ⑤会員の皆様は、町の話ではよく働くねと言われたので、これからもよろしくお祈ります。





平戸西部班  
谷口 栄

- ① 一日の三度の食事、十分な睡眠時間。
- ② 仕事を含め体を動かすこと。ちなみに運動は苦手。
- ③ まず一年元気で過ごせれば良い。野菜作りにも挑戦したい。
- ④ 交流の輪が広がり、多くのことを学ばせてもらっています。
- ⑤ 会員数の増加。特に剪定班。



田平東班  
掘田 倉市

- ① 食事に気を付けています。(特に塩分、摂取量)
- ② 歌謡曲を聞くことです。(なつメロ)
- ③ すべての現状を維持すること。
- ④ 生活にメリハリができました。(充実感)
- ⑤ 会員さん皆で頑張りましょう。



平戸東南部班  
松永 孝

- ① 毎日の散歩と食事(減塩、野菜の摂取)に気をつける。
- ② ゴルフ、メダカの飼育。
- ③ 健康で仕事ができることに感謝し、三十年振りのヨーロッパへの旅を実現したい。
- ④ 年輪的に同世代で気を使うことなく、楽しく仕事ができる。
- ⑤ 働く意欲のある皆様が、仕事ができるよう手助けをお願いしたい。市民や発注者から信頼される組織であること。



平戸北部班  
満屋 正弘

- ① 歌を歌うことが健康です。
- ② 歌。
- ③ 特にありません。
- ④ 仕事をしてお金が入ってくることに。
- ⑤ 特にありません。

# 会員のひろば



## 生命と労働力

犬塚 裕次(津吉班)

自然界では、動物の意志にかかわらず死ぬことは簡単である。生きていくことが大変なのだ。私達人間も生きていくためには、働き生活のもとであるお金を稼ぎ続けなければいけない。これは人間の宿命でもある。

生きるためには生産し続けなければ、それが生々労働力なのです。ウイノ里(あの世)への迎えがこなければ百歳過ぎても老後を暮らせます。健康と労働力は一つのセットなのです。健康であればいつまでも働く事が出来ます。それを証明しているのがシルバー人材センターではありませんか。

私達人間は、すべての人が生老病死をさけて通ることは出来ません。いつかは、神の世界、空想の世界へ導かれるのです。働くことは世の中に貢献しているということ。老いていつまでも働けることが最高の人生ではありませんか。

健康に自信のある人、シルバー人材センターへいらっしやい。一緒に働きましょう。人生最後の想い出を作るためにも。

# 秋の例大祭

## 平戸くんち三年ぶりの開催!!

平戸市の平戸城内に建てられている亀岡神社は、松浦藩主を祀っている寛永八年創建の神社です。亀岡神社の例大祭は毎年十月二十四日から四日間行われる平戸の一大イベント「平戸くんち」（亀岡神社遷御祭）。



初日は事始神事、二十五日は武者行列や龍踊り、獅子舞などが御神輿の神幸に加わり、最終日は献茶祭が行われます。

一番の見どころは二十六日、平戸神楽全二十四番を通して七時間以上行われる「平戸大々神楽」。この神楽は国の重要無形民俗文化財に指定されていて、この亀岡神社でしか見られないそうです。

しかしながら、この平戸くんちも新型コロナウイルス感染拡大で中止を余儀なくされておりましたが、本年は行動制限も緩和されたことから約三年ぶりに亀岡神社の例大祭が開催されました。

二十五日には亀岡神社から御神輿や武者行列が連なり町中を練り歩き、シルバー人材センター会員も、御神輿の担ぎ手が少ない地区の依頼により会員五名が参加しました。

沿道には三年ぶりとなる行列を一目見ようと多くの皆さんが詰めかけ、町中が久しぶりの賑わいを見せていました。

### 新職員をご紹介します!!



業務担当  
城 岩 康 太

一月に入職しました城岩（じょういわ）と申します。出身は南部の猪渡谷町です。二十年ほど県外に出ておりましたが、一昨年平戸にUターンして参りました。

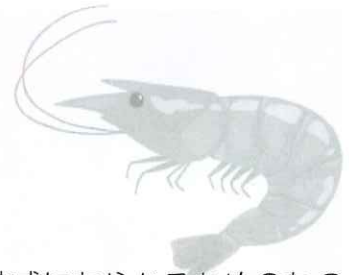
歳を重ねても生きいきと活動される会員の皆さんの姿をとてもパワフルでかついいなと思って眺めていました。元気な皆さんに負けないように頑張っていきたいと思えます!

まだまだ不慣れなところも多くございますが、一生懸命努めてまいります!どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

「ちなみに趣味」（というか生き甲斐）は中国武術です。伝統的な太極拳や棒術などを、会員の皆さんが整備してくださっている公園で、いつも練習させてもらっています。もし見かけたら、ぜひお声をかけてくださいませ〜!



# 健康の知恵 —エビの栄養—



ほとんどの文献を見ると「伊勢エビは日本の祖神である伊勢神宮の神威にあやかるためのもので、ゆでた赤い姿が美しく、鏡餅に飾るのは長寿のシンボルとされる。また、曲がった尾をのばせば、颯爽とした姿になることから使われてきた。」と述べています。

これに対して、安岡正篤（思想家）さんは、「めでたい席にエビが出る。たいていの人はエビは腰が曲がっているから、男女が腰が曲がるまで、すなわち老年まで長生きして共に添い遂げるという意味で、めでたい象徴としてこれを使うと思っている。（中略）エビはあんな固い殻をかぶっているように思うが、実は生きていくかぎり際限なく殻を脱ぐのだそうだ。（中略）いつまでも殻を脱いで固まらない。常に弾力性をもっているということから、いつまでも老いない、固まらない。常に若さをもっているという意味で、すなわち永遠の命、永遠の若さをシンボルするのだそうだ。そこでエビを使う意味はある。」といわれています。

たしかに、私たちは意外に自分の殻に閉じこもろうとする傾向があります。いつもエビのように脱皮する心がけが大切ではないでしょうか。

一年中、世界の食卓にエビ料理が並びますが、日本人ほどエビ好きはいないでしょう。日本水産学会の「若者アンケート調査」によれば、一番好きな水産物はエビ、マグロ、サケでこれと対照的なのは、主婦が「よく食べる魚」はサバ、イワシ、アジの順位です。

海老の字が一番よく似合うのは伊勢エビですが、最近は伊勢で取れなくなりスリランカまで探しに行くのだそうです。クルマエビは天ぷらの王者であり、伊勢エビより美味しい。大正エビはやや下級のものとして、鍋焼きうどんや天丼に使われます。

日本の諺に「エビで鯛を釣る。」というのがあります。わずかな負担で大きな利益を得ること、わずかな贈り物で多くのお返しを受けるということに使われます。人間は欲張りすぎると「エビで名をつく家老どの」という諺（外見はいかめしく威張っていても中味はたいしたことがない）のように馬鹿にされることになるので要注意です。

（高齢者新聞より転載）

## 事務局伝言板

○就業報告書の提出はお早めに。

就業報告書は作業終了後直ちに発注者の確認をいただき、遅くとも翌月初めには速やかに事務局へ提出してください。提出が遅れますと配分金振込の事務処理が遅れますので、お早目に提出をお願いいたします。

○腐葉土を販売しています。

当センターでは、植木の剪定屑を再利用した腐葉土の製造販売を行っており、野菜作りには最適と大変ご好評をいただいております。

腐葉土は、一言でいえば「土の改良剤」と言われ、硬くなり水はけが悪かったり、栄養分や微生物が少なくなった痩せた土を、フカフカで通気性も保水性も優れた土、肥沃な土に蘇らせてくれます。一袋三百円（約二十kg）で販売していますので、是非お試しください。

# 会員募集中!!

「ありがとう」と感謝される日々を  
仲間と一緒に楽しみませんか!!



○草刈り



○お墓掃除



○農作業手伝い



○植木剪定



○水道検針



○障子張替え



○施設管理



○大工仕事



○草取り

平戸市に在住で、60歳以上の健康で働く意欲のある方なら  
どなたでも入会できます。  
毎月第3火曜日に入会説明会を開催しています。  
事前に電話でお申し込みください。

編集発行  
公益社団法人 平戸市シルバー人材センター  
長崎県平戸市鏡川町九三〇番地  
TEL(〇九五〇)二二一三二〇〇  
FAX(〇九五〇)二二一三一四

今年こそは、何の影響もなく健やかな  
年を送れることを祈りながら、今年に  
戻りつつあります。少しはあります  
が、コロナ禍前のようには、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常  
旅行や観光客の見かけ、平戸市内でも  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活

六十八日、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活

で、今年こそは、何の影響もなく健やかな  
年を送れることを祈りながら、今年に  
戻りつつあります。少しはあります  
が、コロナ禍前のようには、日常生活

が、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活

皆、今年こそは、何の影響もなく健やかな  
年を送れることを祈りながら、今年に  
戻りつつあります。少しはあります  
が、コロナ禍前のようには、日常生活

が、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活

## 表紙の説明 (田平町福寿バーナー)

### 編集後記

昨年を振り返りますと、一月には新型コ  
ロナオミクロン株の急拡大に伴い行事が延  
び、中止が相次ぎ、また、二月には現在も  
犠牲となり、悲しい出来事でもあった年  
でした。  
そんな中でも、二月の北京オリンピックメ  
ダルを獲得、十一月にはサッカーワールド  
カップが開催され、日本代表がベスト十  
六入り、長崎県内では、西九州新幹線が  
し、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
旅行や観光客の見かけ、平戸市内でも  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活  
が、観光客が戻り始めるなど、日常生活